

し、1986年になって木下氏が豊岡市内で、前平照雄氏が海岸部一帯で複数個体を目撃されており、本種が近い将来、但馬に定着する可能性もでてきたように思われる。

参考文献

1. 広畑政己（1980）兵庫県のナガサキアゲハ．ひろおび(5):10-17.
2. 広畑政己（1983）兵庫県におけるナガサキアゲハの分布の変遷について．昆虫と自然18(5):18-22.
3. 田中重樹（1981）鳥取市で採集されたナガサキアゲハ．IRATSUME5:76-78.

豊岡市内でナガサキアゲハを目撃

木下賢司

近年、ナガサキアゲハの生息圏拡大のニュースが話題を呼んでいる。姫路市や鳥取市あたりでも定着しているとの報告から、但馬地域でもナガサキアゲハが見られるのも間近なことかと楽しみにしていたところであるが、筆者は豊岡市内で、ナガサキアゲハ1♀を目撃したので報告しておく。

《目撃データ》

1986年10月13日，豊岡市高屋，1♀

同個体は、白斑のかなり発達した♀で、第3化と思われる新鮮なものであった。目撃後約10分間、花壇の中のペチュニアの花で吸蜜を繰り返した後、飛び去った。当日の天候は、晴れであった。